



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度
第 17 卷 29 号
2008年2月7日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
■ 会員卓話 名古屋輔君

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 793 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんにちは、昨年生まれた赤ちゃんは109万人と、戦後二番目に少なくなる見通しと公表されました。今後は、長期的にマイナス傾向が続くと見えています。人口動態統計開始以降では、2005年に初めてマイナスとなり、06年にはいったん増加に転じましたが、07年の人口は再び自然減になるようです。

人口が減って経済規模が小さくなくても、国民一人当たりの豊かさは変わらないので大丈夫である。この様に日本の将来を見通す人もいますが、本当にうまく展開して行くのか疑問で御座います。

ある経済研究センターの試算によりますと、低成長と円安が続けば国民一人当たりのGDPは、2020年には米国の半分に落ち込む結果が出たようです。1960年ころの日本は、米国を100として、わずか16%、その後、高度成長と円高で87年には米国を抜き、米国で日本脅威論が強まっていくことになりました。しかし、バブル崩壊後の低成長と円安で01年以降は再び米国を下回り、06年で日本の一人当たりのGDPは、米国の78%に低下してしまいました。かつて先進7カ国ではトップを走ってきたGDPも、06年にはOECD加盟国（経済協力開発機構）で30カ国中18位まで低下しています。こうした状況をからして日本は、貧しくなっていく可能性が強いと見ているようで御座います。

日本は、輸出立国として長い間、「円安は善」として来ました。国民も自国通貨の上昇を喜ばない現象が続いてきました。その恩恵を受けて日本企業の収益性が回復したと云われております。海外で展開する企業は、リストラによる企業体質改善よりも、基本的には円安に支えられた事が大きな要因であった訳です。そして、その収益を本国に戻さず、現地で再投資しています。

ユーロのような単一通貨圏をアフリカに作る構想が、南アフリカ共和国を中心とした国々で、2018年をめどに検討されております。すでにその検討も最終局面と云われております。原油高で潤う中東産油国は、2010年にも単一通貨発行を目指すと言っています。これらの国は、皆「資源」をかざして基軸通貨を揺さぶっている訳です。

2月のプログラム	
794回 2月14日(木)	12:30 DVD鑑賞「地球村民遠山正瑛」 社会奉仕委員会 理事会
795回 2月18日(月)	18:30 エルム・リージェンシー 2クラブ合同例会 沼津柿田川RC 親睦委員会 曜日・場所変更・夜間
796回 2月28日(木)	12:30 外部卓話 後藤臣彦様(甲府シティRC) 国際奉仕委員会

会 長	渡辺 亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	本村文一

●ビジター

1. 山本倫弘様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
793 回	25 名	20 名	-	80.00 %
791 回	25 名	19 名	1名	80.00 %

●欠席者(5名)

西山幸三郎、大村保二、坂部利夫、佐野 稔、鈴木博行

●他クラブへの出席者

鈴木博行 (2/5 沼津北RC)

●スマイル報告

1. 鈴木良則：ロータリーの皆様には、妻の葬儀で、大変お世話になりました。有難うございました。
2. 宮口雅仁：誕生日のお祝い有難うございます。
3. 井上武雄：妻の誕生日のお祝い有難うございます。
4. 渡辺亀一：結婚記念日のお祝い有難うございます。
5. 本村文一：所用につき早退させていただきます。
6. 吉川直人：所用につき早退させていただきます。
7. 久松 但：所用につき早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①富士宮ロータリークラブ

02月11日(月) 休会

03月02日(日) 静岡第三分区IM

03月31日(月) 観桜例会

2. 報告・連絡事項

①次週は理事会があります。理事、プログラム委員長及びSAAは出席をお願いします。

②ガバナー事務所より、5月12日(日)東京で開催される日台ロータリー親善会議への出席についてのお願いがきております。関心のある方は幹事までお申し出ください。

「「 視覚の大切さについて 」」

名古屋良輔君



情報があふれる現代社会において、日々得られる情報の約90%は目から獲得しています。裏返して言えば

、視覚を失うことは残された10%の情報で生きていかなければなりません。それはほぼ致命的なダメージとなります。なぜこのような一極集中になっているかといえば、それは光の持つ秒速30万キロという情報伝達の速さによります。我々は大脳皮質の約半分を視覚のために費やしています。画像処理には、それだけのパワーとエネルギーが必要なのです。それでも現実には視野の中のほんの一部だけが高解像度であるのみで、その他の部分は視力で言えば0.1未満となっています。人間の持つ脳力では、それで手一杯なのです。

眼球は体の中で唯一透明な組織です。透明であるからこそ光は直進し鮮明な像を結ぶことができます。しかしこのことは諸刃の剣です。つまり光が通過することは、その際に発生する、遺伝子を傷つける活性酸素に常に曝されることになるからです。そのために血液中の約50倍という濃度のビタミンCなど、多くの解毒物質を常に眼内に循環させ活性酸素の無毒化に努めています。

高齢化の進展や生活習慣病、いわゆるメタボリック症候群の増加に伴って、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性症が増加、また最近の調査では緑内障が中途失明の最大の原因に浮上するなど、以前には考えられない変化が起きています。世界的にみれば最大の失明原因である白内障は、超音波手術と眼内レンズ挿入術によって、先進諸国ではほぼ克服された感がありますが、遠近両用眼内レンズなど、さらなる進歩が見込まれています。老眼は多くのロータリアンにとって難題ですが、これも様々な試みが繰り返され、いずれ福音がもたらされることになるでしょう。

とりあえずは年に一度の検診により自分の目の状態を正確に把握し、自分にあった眼鏡を使用することで快適な視生活を送ることが何よりも大切です。



沼津西ロータリークラブ週報



2007～2008年度
第17巻30号
2008年2月14日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
DVD鑑賞「地球村民 遠山正瑛」

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第794例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんにちは、なにかと話題性上がる中国であります、このたびの食品毒物混入事件は、あまりにも衝撃的な事件でありました。そのために新聞の他の話題も見過ごす気配もあるかと思いますが、このところ話題とされているものが、「レアメタル」です。ご承知のようにレアメタルは、非鉄金属の中でも希少金属と呼ばれる31種類の金属の総称です。必要とされる業界の注目を集めております。埋蔵量が少なかったり、抽出が難しかったり、その名の通り希少な金属です。また産出国が極端に偏っているということで、安定供給に問題も生じる物もあるようで御座います。

日本の21世紀の経済を支えるIT産業、医療機器や自動車産業に欠かすことの出来ない金属です。輸出立国日本は、物造りでは常に世界をリードしてきましたが、この産業を支えるレアメタルの安定供給がより重要となっていると云われております。アジア諸国（中国、韓国、台湾等）の製造業に一時は追い越されるのではと危機感さえ数年前まではありました。しかし、日本の素材産業の研究開発が着実に技術的課題を克服して、こんにちは、我が国の素材産業の強さが再認識されています。

日本製自動車、電気製品、情報機器製品等は、高品質、高機能から世界から高い評価を受けていますが、その高い評価は、素材そのものの質の高さが支えていると言われております。しかし、そ

の素材を造りだすレアメタルがこのところ急騰していると云われています。それは産出国の生産調整や輸出削減等によるものです。レアメタルの生産大国である中国は、国家戦略物資と位置付けて重要な国内資源を守る為に、輸出の絞込み、または外国企業や合弁企業のこの産業への参入を禁止している物も御座います。

このような戦略を世界の産出国からとられると、云うまでもなく大変深刻な事態を招くこととなります。すでに昨年は、政府もアフリカ諸国を歴訪して資源外交を展開しています。また民間ではリサイクル技術と代替材料の開発が活発化していると言われております。資源のとぼしい輸出立国の新たな局面を向かえて益々難しい舵取りが強いられてようで御座います。

2月のプログラム	
795回	18:30 エルム・リージェンシー
2月18日(月)	2クラブ合同例会 沼津柿田川RC 親睦委員会 曜日・場所変更・夜間
796回	12:30 外部卓話 後藤臣彦様(甲府 2月28日(木) シティRC) 国際奉仕委員会
3月のプログラム	
797回	13:00 パテオン 静岡第3分区IM
3月02日(日)	富士宮RC 曜日・時間・場所変更
798回	12:30 会員卓話・大久保豊和君
3月13日(木)	プログラム委員会 理事会
3月20日(木)	祝日休会
799回	12:30 PETS報告 次期会長・幹事
3月27日(木)	

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	本村文一

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
794 回	25 名	21 名	-	84.00 %
792 回	25 名	18 名	2名	80.00 %

●欠席者(4名)

坂部利夫、杉山 了、杉山壽章、吉川直人

●スマイル報告

1. 佐野 稔：誕生日のお祝い有難うございます。
2. 芹澤貞治：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 大久保豊和：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
4. 芹澤和子：バレンタインデーです。メンバーに愛情を込め、スマイル致します。
5. 佐野 稔：所用につき、早退させていただきます。
6. A・Mのテーブル：テーブル会の残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①静岡南ロータリークラブ

3月04日（火）→03月03日（水）

「市内7クラブ合同例会」

メイクアップ3月04日11:30～12:30中島屋八幡
ガーデンズ2階ロビー

3月18日（火）休例会 メイクアップは受け付
けません。

②吉原ロータリークラブ

3月13日（木）夜間例会 吉原RC奨学会40周年
記念式典の為 於：ホワイトパレス

3月20日（木）祝日休会

③沼津北ロータリークラブ

3月04日（火）→2日（日）静岡第三分区IM
於：パテオン

3月18日（火）移動例会（愛鷹運動講演清掃）

国際奉仕委員長 本村文一君

国際奉仕委員会で卓話をお願いしている甲府シ
ェイRCの後藤臣彦様からの要請もあり、山梨県出身の
遠山正瑛鳥取大学名誉教授の生前の活動についての
DVDを約27分鑑賞した。

遠山教授は、大学退官後から中国の砂漠緑化の研
究に取り組み始めた。そのコンセプトは、砂漠を緑
化開発し人が住めるようにということであり、砂丘
農業の実践でもあった。場所は中国内モン古自治区で
あった。その緑化のために私財をなげうって、また
講演により寄付を呼びかけ、10年間で335チーム
、6600人あまりのボランティアが中国に赴き植樹
300万株を成し遂げた。（DVDでは100万株の植樹模
様が撮影されている）

DVDでの砂漠が緑化されていく光景は、実に圧巻
であった。退官後高齢にもかかわらずのバイタリテ
ィにも感銘を受けた1本であった。

理事会報告

1. 協議事項

①3月のプログラム プログラム委員長 土佐通孝君
・プログラム委員会の原案通りとする。

②3～4月の座席表について S A A 大村保二君
・配偶者誕生月とする。

③内藤成雄 米山梅吉記念館財団理事長（パストガ
バナ）の逝去に伴う対応について（追認）
・香典として10,000円支出する。

④ロータリー雑誌購入致したい件

ロータリー情報委員長 栗原 侑男君

「今さら人に聞けないロータリー情報マニュアル」
350円/冊 予算（10,000円）の範囲内（28冊）で
購入する。 以上、①～④を一括承認する。

2. その他

富士宮RCよりIMで「富士山文化に資する活動」と
して、各クラブの主な事業を紹介したいとの依頼あ
り。クラブの活動として、「鯉の放流」の活動内容
（始めたきっかけ・参加対象者・予算等）について
報告する。

-----1月分出席一覧-----

後藤（④）	久松（④）	井上（④）+1	栗原（2, 2）	宮島（④）	宮口（2）	本村（3）
名古（④）	西島（3）	西山（1）	大久保（3）	大村（3）	坂部（-）	佐野（1, 1）
芹澤貞(3,1)	芹澤和（④）	杉山了(3, 1)	杉山壽（1）	鈴木博（④）	鈴木泰（④）	鈴木良(1, 1)
土佐(3, 1)	植松（④）	渡辺（④）	吉川（2）			
			例会出席%	71.00%	地区報告%	78.00%

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ~2008年度
第 17 卷 31 号
2008年2月18日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
■2クラブ合同例会 沼津柿田川RC

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 795 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一 会長

皆様今晚は、今年は、私たち西クラブはお招きを頂く方の2クラブ合同例会で御座います。柿田川の皆々様宜しく願い申し上げます。

昨年の2月25日、当ホテルに置きまして、地区研修セミナーが開かれました。そのお手伝いという事で私も参加した訳で御座いますが、次期会長という大役を前に緊張で、大したお手伝いも出来ずに一日を過ごした事が思い出されました。

しかし今日はその様な事の無いように、いささか気分を楽にさせて頂いて、お邪魔させて頂いております。この合同例会も今年で10回目に御座います。沼津4クラブ合同、また、親クラブと合同も御座いましたが、消滅してしまいました。こうして回を重ねている事は、やはり会員の寛大な理解があるからです。形や体裁にこだわらず、障りの無いところに、私たちが魅力としている所であろうかと思う次第です。

2月のプログラム

796回 12:30 外部卓話 後藤臣彦様 (甲府2月28日(木) シティRC) 国際奉仕委員会

3月のプログラム

797回 13:00 パテオン 静岡第3分区IM 3月02日(日) 富士宮RC 曜日・時間・場所変更

798回 12:30 会員卓話・大久保豊和君 3月13日(木) プログラム委員会 理事会

3月20日(木) 祝日休会

799回 12:30 PETS報告 次期会長・幹事 3月27日(木)

出席委員会報告

★出席報告 (会員総数25名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
795 回	25 名	17 名	-	72.00 %
793 回	25 名	21 名	2名	92.00 %

●欠席者(7名)

本村文一、西島邦彦、西山幸三郎、大久保豊和、坂部利夫、佐野 稔、鈴木良則

●他クラブへの出席者

杉山 了 (2/17 第5分区I.M)

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	本村文一

1. 他クラブの例会変更等

①富士ロータリークラブ

4月16日（水）特別休会

4月02日（水）ロータリーの森清掃施肥の為

於：岩本山公園ロータリーの森 12:30より

②新富士ロータリークラブ

3月04日（火）→02日（日）IMに振替

於：パテオン 12:30より

3月18日（火）→16日（日）薩峠を歩いてみよう

ウォーキング例会 9:00より

③富士宮西ロータリークラブ

3月14日（金）→16日（日）ミツバツツジ植林

（朝霧アリーナ）9:30 現地集合

3月28日（金）お花見夫人同伴例会

お花見17:30より、例会18:30より

於：岩本山公園「ラ テラス」

2. 報告・連絡事項

①RI第2620地区ロータリー米山奨学会委員会より
2008年度地区米山記念奨学生として14名の新規採用が決定したこと、ならびに同奨学生を受け入れる世話クラブを募集するお願いが来ております。

臨時理事会報告

1. 協議事項

①沼津市役所より、井上靖生誕100周年記念DVD作成事業協賛の要請ある件（1口10,000円より）

・10,000円とする。

②ロータリー財団への寄附額について

・当初予算どおり、ベネファクター分を除き、1人あたり100ドルの寄附となるようにする。

・100\$×108円×25人

ロータリー財団寄附 162,000円

ポールハリスフェロー 108,000円

・1,000\$×108円

ベネファクター 108,000円

・合計 378,000円

以上、①～②を一括承認する。

沼津柿田川RC
古泉 栄一君による乾杯の
発声で始まる



交換留学生の
カタリーナ ピルスさん



ガバナー補佐エレクト
沼津柿田川RC 勝亦 守君



両クラブ交互のカラオケ
熱唱する我が沼津西RC
大村保二君



終始和やかに過ぎた両クラブの皆さんでした



沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度
第 17 卷 32 号
2008年2月28日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
外部卓話 後藤臣彦様

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 796 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんにちは、ロータリー一年度も年が変わって、早くも2ヶ月を消化する所まで来ました。二月は逃げると云われますように、瞬く間に過ぎ去る感じで御座います。

今年は世界的に株価が暴落すると云われていました。日本も年明けから下がり続けていますが、下げて儲かる手法でプロの投資家は、大きな利益を上げていると思います。その手法とはカラ売りです。個別銘柄のカラ売りと、株価指数のカラ売りなどです。株価指数のカラ売りは、日経平均の先物が上げられます。今年に入って3千円から下げている日経平均は、いかに個別銘柄が売り一色にされているか証明されているわけで御座います。個人投資家も先物専用口座を開設すれば、簡単に取引が出来ますので、その下げに勢いを増している訳で御座います。株価とは実体経済の反映、または、為替相場の変動などによって乱高下は、それなりに理解も出来ますが、いろいろの手法によって市場が動いていることに驚きを感じます。

新聞のコラムに「円漂流」という記事が御座いましたが、まさに、風波によって漂う円を過去から現代、この先の円の行方を、いろいろの方面から取材した気を引かれる記事でした。1971年アメリカはドルの流失を防ぐ為に、通貨の多国間調整を行った。これにより円は、360円から308円に切り上げになりました。しかし、この固定相場も長続きしなかった。アメリカは金とドルの交換を停

止し、これを機に固定相場が崩れ変動相場制に切り替えた訳です。

1985年7月、円相場は1ドル250円前後でした。このとき東海銀行の調査部長だった水谷研治氏は、1ドル=150円の調査レポートを上げて行内からは、要注意人物に指定され、国内の輸出企業から猛抗議にあがったことが御座います。それから2ヵ月後の9月、ドル高是正のプラザ合意が発表されて、ドル安・円高が急激に進行して、水谷氏の予言もまたたく間に現実になっていった訳です。

そして、輸出が減少し国内景気が低迷して、この対策が始まったわけです。円高不況に対する懸念から日銀は、低金利政策を継続し、企業も円高を克服する力をつけ国内景気は回復に転じて来たわけですが、その後、金融機関の過度の貸し出しで過剰流動性を招き、土地や株式にそのお金が流れて、バブル景気が起きた訳で御座います。

3月のプログラム	
797回	13:00 パテオン 静岡第3分区IM
3月02日(日)	富士宮RC 曜日・時間・場所変更
798回	12:30 会員卓話・大久保豊和君
3月13日(木)	プログラム委員会 理事会
3月20日(木)	祝日休会
799回	12:30 PETS報告 次期会長・幹事
3月27日(木)	

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	本村文一

出席委員会報告

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
796回	25名	21名	-	84.00%
794回	25名	21名	1名	88.00%

●欠席者(4名)

坂部利夫、芹澤和子、杉山壽章、吉川直人

●他クラブへの出席者

佐野 稔、鈴木良則（2/19 沼津北RC）

杉山 了（2/23 諮問委員会）

鈴木博行（2/24 地区研修セミナー）

久松 但（2/26 沼津北RC）

●スマイル報告

1. 鈴木博行：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 西島邦彦：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 名古屋良輔：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 大村保二：所用につき、早退させていただきます。
5. 鈴木良則：名古屋先生、昨日はお世話になりました。
6. 鈴木泰次：バッジを忘れました。
7. 芹澤貞治：早退します。

幹事報告

報告・連絡事項

①ガバナー事務所より

ガバナー事務所の始業時刻変更の件

電話等の受付は9時始業→10時始業となります。

期間：2月25日（月）～3月24日（月）まで

②次週の例会はIMとなります。会場までは柿田川RCと一緒にバスをチャーターしましたので、それぞれの出発時間に間に合うよう集合願います。

11:00 ブケ東海駐車場→11:15 原地区センター並びに同奨学生を受け入れる世話クラブを募集するお願いが来ております。

卓 話

国際ロータリー2620地区社会奉仕委員長

後藤 臣彦様（甲府シティRC）

ロータリアンの皆さまへ
砂漠緑化へのご協力をお願い



「地球村民遠山正瑛」
のDVDをご覧いただきまして
ありがとうございます。

地球陸地の三分の一は砂漠となり、地球温暖化等により、全世界の砂漠は拡大しつつあります。日本に最も近い中国内モンゴル自治区のクブチ砂漠の緑化をしなければ中国が危ない、北京が危ない、そして日本が危ないと、遠山正瑛先生は80歳から10年間300万本を超えるポプラの森を実現させました。中国政府は国家目標の最重要課題に「西部大開発」即ち「砂漠大開発」を入れました。そして先生への感謝の印として砂漠緑化の前進基地クブチ砂漠に6Mもある遠山正瑛先生の銅像を建立しました。また、国連より人類への貢献賞、アジアのノーベル賞・マグサイサイ賞等を受賞されました。

私たち2620地区の生んだ世界的ロータリアン加藤恒七パストガバナーはR1の環境保全委員に7年間指名され「ロータリアンは毎年10本以上木を植えよ！」と訴え、R1はそのことを決議しました。このことは世界にも多くの影響を与え、国連も80億ドルを出資し、アメリカ合衆国は前ブッシュ大統領時代に4年間で100億本を植林しました。国連調査の結果、70～80兆本の木が地球上にあり、全世界で植えている木の合計はせいぜい1千億です。「21世紀は自然の尊厳を深く考え、心の豊かさを追求すべき時代だ！」と結んでいます。

リチャードD・キングRI会長はR人道的な働きをせずに生涯を送ったことを後悔しながら人生を終えることのないようにいたしましょう！「人類が私たちの仕事であります」と述べております。

さて皆さま、私たちの地球は温暖化等の問題で待たなしの状況にあります。どうか遠山正瑛先生の砂漠化活動にご協力をお願い申し上げます。

来年5月の緑の協力隊として「日中友好砂漠サミットへのご参加及び「日中友好平和の森」創世プロジェクトへのご協力(法人・個人)をどうぞよろしくお願い申し上げます。